

2020年度

第2回  
自己評価委員会報告書

学校法人長野県理容美容学園

長野理容美容専門学校

# 自己評価委員会報告書

日 時：令和3年 2月15日（月） 10：30～13：00

場 所：松本理容美容専門学校 会議室

出席者名：(学園) 長尾理事長・嶋村副理事長・吉川事務局長・桐山広報企画部部长

(学校) 松林校長・柏原教務主任

長尾理事長挨拶

コロナ渦が落ち着いてきて、安心している。今年度はコロナ影響を考えながら、自己評価をすることに重点をおいてきてもらい感謝している。自己評価することは、お客様のニーズの変化を敏感にとらえ学校としての自己評価も変化していく時代である。

## 【審議検討事項】

### 1. 2020年度自己点検・自己評価について（資料①参照）

2020年度報告として、7月自己評価委員会において中間報告した項目に加え、全項目の周知すべき点の報告を行った。

**(基準1)** **総括**：「教育とは教える者と教えられる者との関わりの中で、人を変える営みである」技術教育機関である本学園は、人格・技術共に豊かな変貌を期待できる全人的な教育を目指しています。

教える者・教えられる者ともに今よりも一歩前進を心掛け、未来に繋がる確かな技術を、創造的に先取りできる人材育成を似なっており、教育理念とします。

- ・美容科が職業実践専門課程認定校として認定された。
- ・美容科授業に連携企業の現役美容師や各種スペシャリストを委託。1学年では昨年度より取り入れたカット授業に3店舗のサロン講師に授業をしていただいている。2学年ではより深くまで習得できるようにパーマ・アップセット・ネイル・メイクのうち2課目の選択をして授業を行う。前期が終了した。
- ・ビューティビジネス科ではブライダルに特化した技術習得カリキュラムを導入している。
- ・令和 元年 教育環境の更なる充実を図るため新校舎改築に向け始動。令和4年3月完成予定。

**(基準2)** **総括**：令和2年第8次5か年計画（令和2年～6年）を策定し、学校教育の充実、経営面の名良、的確な運営処理、危機管理体制、施設設備の充実を行う。

- ・新型コロナウイルス感染予防の為の環境の整備。リモート授業の設備の充実。
- ・危機管理マニュアルに沿って危機管理体制が機能した。
- ・教育内容・教育環境の向上のため新校舎建築事業の推進
- ・令和4年3月新校舎完成に向けて建築事業を進めていく。
- ・令和3年1月ビューティビジネス科教員を1名採用。
- ・インスタグラムなどを活用し、学校の情報提供をするなどウェブサイトの充実を図っている。

### **(基準3)**

- ・幅広い教養や社会人基礎力の養成を目的とし、現場に沿った教育のため産学連携授業を取り入れている。担当講師と連携を取りつつ、目標への到達を行っている。
- ・1学年美容授業では昨年に引き続きカット授業に3店舗のサロン講師に授業をしていただく。
- ・2学年美容科ではより深くまで習得できるようにパーマ、アップ、セット、ネイル、メイクのうち2課目の選択をして授業を行っていく。各課目サロン講師や各種スペシャリストに講師をしていただく。
- ・ビューティビジネス科はブライダルコーディネーターのカリキュラムを導入している。

- ・感染症拡大防止対策のため、オリエンテーションや各種イベントが中止や延期となっているが、オンラインでのコンテストやフォトコンテストが開催され、参加することができた。
- ・授業アンケートや、学生満足度調査など随時行い、教職員全員が共有し、常に軌道修正を行っている。資格に関する授業はすべて担当職員が学生による評価を実施している。学生および教職員のモチベーションを喚起し学生のニーズに応える教育環境の実現のためにも「即戦力として社会に通用する人材の育成」という本校の教育理念を踏まえた評価体制を構築していく。
- ・随時指導内容の向上に役立つ研修を行った。メンター講習会やパーソナルブランディング講習会の他、リモート授業へ速やかに対応できるように研修を行った。

**(基準4)** **総括**：・今年度は休学者2学年3名、退学者2名。1学年休学者2名、退学者3名。併せて休学者5名、退学者5名となった。学生への学習意欲を駆り立て、個々に合わせた指導と、教員の連携を行ったが、日常生活においての精神の不安定や、金銭面からなる目標の揺らぎなど様々な要因である。生活指導と目標を見失わないような、魅力的なカリキュラムを取り入れ、社会人としてのたくましさ育てる教育をしていく。

**(基準5)** **総括**：新型コロナウイルス感染防止対策として示された、文部科学省「学びの保証」へのガイドラインに沿って修学支援を推進する。

- ・令和3年度「ビューティコレクション」として、長野校と共に学修成果の発表機会として計画を推進する。
- ・就職時期が例年より遅れていたため、就職相談を密に実施した。
- ・オンライン形式の面接・見学のサロンが増加したため、対応できるよう準備し、実施。
- ・「あなたが誰かの夢になる」というスローガンのもと、個々の興味や研究を深めていくことで、確立できると考える。
- ・休校期間にも、担任や学年からのリモート授業により、毎日の確認を行うことができた。また、体調確認や意識調査などにより、早めの対応を行うことができた。
- ・高等教育修学支援の指定校となったため、入学生及び在校生へ周知した。  
「給付型修学支援」 対象者 1年生10名 2学年6名
- ・長野県からの感染防止マニュアルを基に、本校での感染防止マニュアルを作成し、毎日の健康観察と新しい生活様式を徹底した。

**(基準6)**

- ・実務実習、来校実習、アゲインイベントなど中止となったが、オープンキャンパスでのミニヘアショーや、校内競技会などを通じて美容の楽しさややりがいを感じさせることができた。

**(基準7)** **総括**：・高大接続に伴うAO入試実施を検討する  
「令和4年度からの高専接続対策として、AO入試に関する長野県としての共通ガイドラインが県専各連より示された」

- ・オンライン形式の進学相談実施
- ・「ビューコレ2020」延期における理解と説明、周知の徹底
- ・令和3年度「ビューティコレクション」の計画推進
- ・ネット出願資料の準備及び体制構築
- ・新型コロナウイルスの影響を考慮しオンライン形式の進学相談の増加に対する準備(wifi環境整備)し、強化した
- ・学園HP内容リニューアル準備
- ・ネット広告導入するため、業者との打ち合わせを実施

(基準8) 継続して、問題なく実施できている。

(基準9) 継続して、問題なく実施できている。

(基準10) 継続して、問題なく実施できている。

## 2. 重点目標について (別紙1・2参照)

### ○2020年度実施報告

- ① 挨拶・返事・整理整頓・清掃・品格・人のためを考える・コミュニケーション能力・行動力  
職員の技術力や指導力の向上
- ② 学生達が楽しく学べる環境づくりについて
- ③ 学生募集  
3月31日時点で2020年度重点目標の実施状況の報告  
2021年度も引き続き、重点目標を中心に向上していく努力をしていく。

### ○2021年度目標課題

- ① 教育活動 美容技術や人間力の向上
- ② 学生支援 学校生活の充実
- ③ 学生募集 学校の魅力と美容の魅力を伝えていく

- ・入学から卒業まで、そして卒業後にはたくましく成長し続ける美容の技術者として活躍できる社会人の育成  
感染防止対策を徹底して、工夫して環境を整え、在校生の満足度を上げる
- ・オープンキャンパスの実施方法を充実させる
- ・HPのみではなくSNSの活用、インスタの工夫、ビューティタイムスの見直し
- ・学校の認知度を高め、地域へ浸透していく工夫をする
- ・在校生と共に魅力を伝える
- ④ 学生への重点目標  
挑戦
  - ・美容や芸術に興味関心を持ち情報収集し、発想・構想する力
  - ・粘り強く最後までやり抜く力
  - ・思いや考えを発信し、積極的に行動する力
  - ・心と体を健康に保つ協働・貢献
  - ・他業種の方たちと対話し、協力しながら人間力を磨く
  - ・仲間や地域に貢献し自己を高め創造力を養う
  - ・問題を見つけそれに向き合い、行動する笑顔
  - ・自分や周りの人(お客様)の心や身体を元気に
  - ・感謝の心を忘れずに

### 3. 学校関係者委員会の報告（別紙3）

- ・就職部のサポート体制が整ってきているので、信頼している。引き続き、連携していく。
- ・オンライン授業の導入時期は早いときから実施するのか？  
→クラス LINE を活用している。履修時間としても許可を得ている。休校期間中、学生達の心の支えになったのでは。
- ・コロナ対策において、学校の大変さは理解している。第2波に対しても、今後工夫していく必要がある。助成金を上手く活用していくべきでは。
- ・学校として大変だと思うが、コロナと上手く付き合っていかななくてはいけない。工夫次第である。教育内容が落ち着いているのなら、安心である。
- ・校舎改築の兼ね合いもあると思うが、在校生満足を最優先にしてほしい。
- ・コロナで大変な年度だが、学生意欲は例年より高まっていると感じている。大変な状況だが、学生たちは前向きになれているので、在校生満足を第一に今後も対応していく。
- ・姉妹学級の機会を今年度より増やし、学年・クラスの枠を超えて学校全体で学生をフォローできる教育環境づくりに力を入れていく。
- ・難しい家庭環境の学生も増えてきているため、今後も引き続き、スクールカウンセラーとの連携をとり、サポート体制を強化していく。
- ・離職率が多いことについて、心配である。サロン側の問題もあるのでは。地元サロンも併願していても良いのでは。辞めるなど無理じいは出来ない。  
→自己肯定の低い学生が多い。就職指導時に、キャリアプランの描けない学生や自己 PR の出来ない学生が増えていると感じている。
- ・キャリアプランについては、1日1日を大切に何が出来る様になったかを考えさせることが大事である。失敗談の方が学生の心に響く時代。具体的アドバイスが必要である。学生の存在感を認めてあげること。
- ・新人育成において、サロンは努力していると感じている。自己肯定感が低いのは感じている。家庭環境の問題もあると思うが、ほめていく事が大切。1日1回声をかけてあげてほしい。
- ・姉妹学級の実施。教職員の共通認識を軸として、必ず一人ひとりに声をかけていくこと。誉める指導を実施していく。
- ・今年度は各大会・イベントが中止となっているので、来年度 6/21 に美容組合と美容商業組合が協力して、大会を開催する予定である。学校と業界全体で盛り上げていきたいので、協力してほしい。
- ・ナガコレについても今年度実施できなかったため、来年度 5/3 に開催予定である。従来よりも大きなイベントになる予定である。県立美術館を使用し、芸術とのコラボのショーと、セントラルスクエアでも披露する形を計画している。学校も前向きに協力してほしい。
- ・今年度は各イベント・大会が中止になっているため、現状で実施できる校内イベントなどを計画している。学生たちの満足度を上げるため、実施していきたい。来年度の業界のイベント・ナガコレについては、ぜひ参加させていきたい。  
ネット系を活用していくべきである。難しい部分もあると思うが、他校の成功例をまねることも大切である。
- ・インスタのフォロワー数を増やす工夫が必要である。現状は、業界や卒業生のフォロワーが多い。
- ・在校生個人のフォロワーが多いので、上手く活用していきたい。
- ・高校生のフォロワー数を増やすための方策を早川先生と打ち合わせしていく。(7/31)

以上が、学校関係者評価委員会にて検討した事項の報告

### 4. 次回 第1回 自己評価委員会

日 程：令和3年7月8日（木） 10時30分より 場 所：松本理容美容専門学校 校長室